

四万十町文化的施設整備事業町民向け講演会

「新しい文化的施設とまちづくりー女優・渡辺梓さんを迎えて」

地域に生きる表現者としてー渡辺梓という生き方

四万十町で現在進めている新しい文化的施設整備への町民各層の関心を喚起し、主体的な参画を引き出す契機とすべく町外から高名な講師を招聘し、「新しい文化的施設とまちづくり」の意義をあらためて認識する機会を設けました。

講師として招聘する渡辺梓さんは女優として活躍する傍ら、地域での朗読活動や芸術活動にも精力的に取り組んでおり、市井のなかに生きる女優であり市民であるという立場から横浜の「まちづくり」で大きな役割を果たしています。

今回、渡辺さんを講師にお迎えし、そのご経験を幅広く語っていただくことで、四万十町において図書館と美術館の2つの役割を備える新しい文化的施設はどのような役割を果たせ、町民はどのように参画していけるのかを考える機会となりました。

2019年5月26日（日）

四万十町農村環境改善センター（多目的ホール）

主催：四万十町教育委員会

【模様 1】



【模様 2】



【まとめ】

当日は70名ほどの参加があり、途中から急遽座席を増設する対応に追われるほどでした。

特に重要な点として、これまで四万十町文化的施設整備事業のワークショップ等には参加が見受けられなかった町民の姿が多数あったことです。

これは文化的施設への関心喚起が届いていない層への波及をねらった本講演会の目的からすると、重要な成功でした。

また、講演終了後も質問が相次ぎ、特に町内高齢者層には朝の連続テレビ小説の主演を務めた講師の経歴が大きな誘因になったと思われます。他方、講師のお話は当方の依頼内容に基づき、女優業に閉じたものとして語られるのではなく、ご自身が取り組まれているアトリノベーションや創作活動にも存分にふれるものでした。この話題に町民がどのような関心を示すか、不安がなかったわけではないが、質疑内容等を振り返る限り、この不安は杞憂でありました。

「新しい文化的施設とまちづくり」というテーマに通底する非常に練られた講話をいただいた講師のご配慮に感謝するばかりです。

なお、講師である渡辺梓さんには翌日、大正・十和の両地区にもお運びいただき、四万十町の歴史・文化・自然、そして人々を味わっていただけたのではないかと思います。特に十和地区では特別に時間をいただき、地元町民との対話の機会をとっていただきました。帰路に渡辺さんから再訪し、もっとじっくりと四万十町と向き合いたいと真摯なお言葉をいただいたのが印象的でした。このお言葉に応えるべく、本事業を契機として、渡辺さんの創作活動を四万十町の文化活動と接続させていく取り組みを検討していきたいと考えています。